

鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの 取り組みについて

ここでは、昨年6月、日野病院内に開所した鳥取大学地域医療総合教育研修センターでの取り組みについて、鳥取大学医学部地域医療学講座の谷口晋一教授と井上和興医師に紹介していただきます。

鳥取大学地域医療総合教育研修センターを開設して9ヶ月

日野病院に鳥取大学地域医療総合教育研修センターが開設して9ヶ月がたちました！

昨年6月に日野病院に開設された地域医療総合教育研修センターについて紹介します。センターでは、日野病院での診療をとおした医学生への地域医療教育、日野郡エリアの地域医療課題の研究などをおこなっています。地域医療学講座からはスタッフ2名が従事し、日野病院の総合診療外来と、在宅診療、黒坂診療所、さらに日野町行政といっしょに地域包括ケアの推進などに取り組んでいます。現在、スタッフとして井上和興講師と、今からは渡邊ありさ先生に代わり朴（パク）先生が勤務しています。昨



研修センターでの指導の様子

年は医学生として1年生（早期体験）、3年生（研究室配属）、4年生（地域医療体験）が、センターでの実習を受けましたが、院内のスタッフの協力もあり、学生たちは地域医療の前線の雰囲気を感じてくれたように思います。5月からは6年生（臨床実習2）がやってきます。この研修センターで学んだ医学生たちが、「地域医療はおもしろい」「家庭医や総合診療医に興味があった」と言ってくれるように、教育内容を整えていきたいと思います。住民のみなさんも、この研修センターが日野町と鳥取大学の双方にとって実りあるものになるように、あたたかく見守ってください。

鳥取大学医学部地域医療学講座

教授 谷口 晋一

研修センター発 「見える事例検討会」でいろんな職種が手をつなぐ!!!

医療現場は、国家資格を持った10個以上の専門職が協働することで成り立っています。それぞれの強みは異なり、それを上手に活かすことで、患者さんにもものすごい力を発揮することができます。ただ現場では、お互いの強みを理解せずに自分の世界だけで仕事を完結してしまう場面も多いようです。お互いの強みを、患者さんに届けるために、日野地区では「多職種による見える事例検討会」をスタートしました。この検討会は、①課題解決、②支援者の援助能力の向上、③地域ネットワークづくりを目的に開発された手法で、全国的に広がっているスタイルの検討会です。認知症の方の対応で困ったことを共有し、いろいろな職種が意見を出し合い、次の一手（具体的な行動）をみんなで考えます。日野地区では、介護支援専門員・訪問看護師などがこの検討会をおこなう資格を取りました。今後、地域での医療介護の質を向上させるため、どんどん工夫していきますので、よろしくお願ひします(^)/。

鳥取大学医学部地域医療学講座

講師 井上 和 興



見える事例検討会において